指導計画案

指導上の重点目標	学習活動と指導上の留意点	
1　簡潔な漢詩を正しく音読・読解できるようにさせる。 2　漢詩の基礎知識と唐詩の特質を理解させる。	**導入** ①　漢詩の決まりについて、理解する。「漢詩の手引き」（P一五六～一五七）を用いるなどして、簡潔に説明する。 ②　唐代の文化について知っていることを発表する。その後、指導者の説明を聞く。小・中学校で学習した知識を発表させる。指導者は唐詩が唐代文化の精華とされていることを説明する。	
1　**【絶句―四季】** **【春暁】** この詩における自然に対する愛情を理解させる。	**展開** ①　**【春暁】** ②　詩の黙読。その後、範読を聞く。 ③　一斉読み。その後、指名によって音読する。 ④　五言詩のリズム「〇〇＋〇〇〇」を指摘する。 ⑤　詩の書き下し文を完成させる。**知技** ⑥　指名によって板書させてもよい。板書させたものはきちんと評価し、誤りがあれば添削して完成させる。 ⑦　正確に現代語訳する。**知技**【**「言葉と表現」1**】 詩の表現の意味・内容が伝わるような現代語訳を工夫させる。 詩の場面展開を整理する。 優れた表現を指摘し、第四句を中心に作者の心情を考える。 詩形・押韻について確認する。【**「学習のポイント」1**】 押韻等、まだ分かりにくいようであれば、この段階では、指導者の側で説明してもよい。	

1 【江南春】 この詩における自然と人間とのかかわりについて考えさせる。 1 【秋風引】 この詩の自然に対する繊細な感覚を理解させる。	**展開**	①詩の黙読。その後、範読を聞く。 ②一斉読み。その後、指名によって音読する。 ③七言詩のリズム「〇〇＋〇〇＋〇〇〇」を指摘する。**知技** ④詩の書き下し文を完成させる。**知技** ⑤正確に現代語訳する。 ⑥前半の叙景の美しさについて理解する。 ⑦後半の転調の大胆さについて理解し、情景について討論する。 情景の展開を事実と見るか、幻想と見るか、自由に意見交換させる。 詩形・押韻について確認する。〔**「学習のポイント」1**〕 【秋風引】 ①詩の黙読。その後、範読を聞く。 ②一斉読み。その後、指名によって音読する。 ③詩の書き下し文を完成させる。**知技** ④正確に現代語訳する。 疑問形などの句法、擬音語などに注意させ、漢和辞典を引いて現代語訳を作らせる。漢和辞典で調べる語を指定してもよい。擬音語「蕭蕭」等。 ⑤「入庭樹」の主語について考える。 ⑥「孤客最先聞」の理由について考える。 多様な答えがあり得るので、自由に討論させたい。 ⑦詩形・押韻について確認する。〔**「学習のポイント」1**〕	

1	
【江雪】 この詩における、自然と人間に対する厳しい認識について考えさせる。	
展開	**まとめ**
① **【江雪】** 詩の黙読。その後、範読を聞く。 ② 一斉読み。その後、指名によって音読する。 ③ 詩の書き下し文を完成させる。**知技** ④ 正確に現代語訳するとともに、その内容も理解する。その際、第三句の表現効果に注意する。 ⑤ 作者と、この詩の成立の背景について理解する。 指導者は簡潔に説明する。 ⑥ 対句表現について理解する。 絶句形式には対句は必要ではないが、この詩では厳しい自然の情景を重厚に描くために用いられていることを理解させる。 ⑦ 第四句を中心に、作者が雪景色から感じたものを考える。 ⑧ 詩形・押韻について確認する。**〔「学習のポイント」 1〕**	① ［四季］の詩について、まとめの学習活動を行う。**思判表**　**主態**　**〔「言語活動」 1〕** **ア**…季節の景物と心情の関わりについて、理解する。 四首の詩について、その詩の中で象徴的な景物の表現を抜き出し、その表現が呼び起こす心情や表現相互の関係について説明する。 **イ**…複数の心情によって詩が構成される場合があることを、理解する。 詩の中心となる心情と、それとは異なるものの、詩の世界を構成するには不可欠の心情に注意させる。 ○ テストを実施する。 ○ 語句・句形問題を実施する。

1	**【絶句―送別】** **【送元二使安西】** この詩における美意識と、友人への態度について考えさせる。
展開	
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	**【送元二使安西】** 詩の黙読。その後、範読を聞く。その際、句中の切れ目に注意する。「陽関三畳」といわれる名編なので、気をつけて範読する。それにならって、第三句を三回繰り返す等してもよい。 一斉読み。その後、指名によって音読する。 詩の書き下し文を完成させる。知技 正確に現代語訳する。**〔「言葉と表現」1〕** 第一句から想起される情景を理解する。 第二句の表現の特徴を理解する。 表現の巧みさのみでなく、柳の若葉の揺れるさまを捉える美意識の高さにも注目させる。 前半に対して、後半がどのような特徴を持っているかを理解する。**〔「学習のポイント」1〕** 前半の叙景、後半の語りかけ、その二つを対比して明示する。 詩中の地名を地図上で確認し、作者の思いを理解する。 遣唐使の旅の困難さ、シルク・ロードの旅の危険さ等、例として出すとよい。 詩形・押韻について確認する。

1	【勧酒】 この詩の、友人に対する細やかな思いを理解させる。	
2 1	【絶句―望郷】 【涼州詞】 七言絶句の特徴を理解し、正確に音読できるようにさせる。 この詩における流麗な美しさと、兵士の思いを理解させる。	
	展開	
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧	【勧酒】 詩の黙読。その後、範読を聞く。 一斉読み。その後、指名によって音読する。 詩の書き下し文を完成させる。**知技** 重要語句、難解な表現については、あらかじめプリントを作っておき、そこで指摘されている語を漢和辞典で引かせる等工夫する。 正確に現代語訳する。**〔「言葉と表現」1〕** 華やかな感じの言葉、悲しい感じの言葉を指摘し、詩の流れを考える。 前半の華やかさと後半の悲哀感への移行を、板書等を利用して明示する。 友人に対する思いがどう表現されているか考える。**〔「学習のポイント」1〕** 「不須辞」という無理強いと、「足二別離一」という悲哀感との対応を、板書等によって明示する。 全員に訳詩を作らせ、数名が発表する。 現代語訳でもよい。参考としてあげている井伏鱒二の訳を紹介するとよい。 詩形・押韻について確認する。	
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	【涼州詞】 詩の黙読。その後、範読を聞く。 一斉読み。その後、指名によって音読する。 詩の書き下し文を完成させる。**知技** 正確に現代語訳する。**〔「言葉と表現」1〕** 正確な現代語訳をするために、「莫レ笑」「幾人回」に注意させる。 第一・二句について、その華麗なイメージを理解する。**〔「学習のポイント」1〕** 全体にエキゾチックで華麗な名詞が並んでいることに注意させる。 第三・四句について、転調の様子を理解する。**〔「学習のポイント」1〕** 詩形・押韻について確認する。	

1		
【静夜思】 この詩の、月を見て望郷の思いを書きたてられた心情を理解させる。		
展開		**まとめ**
① ② ③ ④ ⑤ ⑥	詩の黙読。その後、範読を聞く。 一斉読み。その後、指名によって音読する。 詩の書き下し文を完成させる。**知技** 正確に現代語訳する。 作者のいる具体的な状況を想像してみる。 望郷の詩であることを理解させる。 詩形・押韻について確認する。〔**「学習のポイント」1**〕	①
		○ ○
		［送別］［望郷］の詩について、まとめの学習活動を行う。**思判表**　**主態**〔**「言語活動」1**〕 **ア**送別の二首に見える「君」が誰を指すかに注意する。 **イ**「涼州詞」の「君」が誰を指すか、詩の読者を想定しながら、考える。 **ウ**「静夜思」における月光がどのような働きをしているかを考える。 **ア**どちらの「君」もこれから旅立つ友人を指していることを理解させる。**イ**「君」は、この詩が誰に向けて書かれているかによって解釈が異なることを理解させる。**ウ**漢詩においては、古くから、月が離れた土地にいる人同士の思いをつなぐものとして描かれてきたことを理解させる。 テストを実施する。 語句・句形問題を実施する。

1	【律詩】 【春望】 この詩における、深い家族愛と社会意識を理解し、漢詩の表現力の高さを理解させる。	
	展開	
		①詩の黙読。その後、範読を聞く。 ②一斉読み。その後、指名によって音読する。その際、対句に注意する。 ③詩の書き下し文を完成させる。**知技** ④正確に現代語訳する。 ⑤作者と、この詩の成立の背景について説明する。 ⑥指導者は簡潔に説明する。 対句表現を指摘し、それぞれの対句の表現上の特徴、用語の特徴を指摘する。**〔「言葉と表現」1〕** 対句について、必要な説明を行う。 ⑦全体の展開を理解し、作者の家族への思い、社会・国家への思いを理解する。 家族への思いを述べた表現、社会への思いを述べた表現を、それぞれノートにまとめさせる。 ⑧作品の優れているところ、日本文学への影響などを調べ、討論する。**知技** ⑨詩形・押韻について確認する。

1		
【八月十五日夜、禁中独直、対月憶元九】 この詩における、友人に対する心情の深さを理解させる。		
展開		
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧	**【八月十五日夜、禁中独直、対月憶元九】** 詩の黙読。その後、範読を聞く。 一斉読み。その後、指名によって音読する。その際、対句に注意する。 詩の書き下し文を完成させる。**知技** 正確に現代語訳する。 「三五夜」という掛け算の表現、「新月」「故人」など現代語と違う用法の語などに注意させる。 作者と、この詩の成立の背景について説明する。 指導者は簡潔に説明する。 対句表現を指摘し、それぞれの対句の表現上の特徴を理解する。**〔「言葉と表現」1〕** きわめて緊密な対句表現で、それぞれが特色を持ったものであることを確認させる。 全体の流れから、作者の友情の深さがどのように表現されているかを理解する。 共に月を見ているに違いないという思いと、友の身に対する不安とが交錯していることに注意させる。 詩形・押韻・対句について確認する。	
まとめ		
① ○ ○	**〔「言語活動」1〕** ［律詩］の詩について、まとめの学習活動を行う。**知技　思判表　主態** **ア**「春望」を書いた当時の杜甫の境遇と時代背景を調べる。 **イ**「八月十五日夜…」を書いた当時の白居易と元稹の境遇と時代背景を調べる。 **ウ**詩と時代の関わりについて、杜甫と白居易の共通点と相違点について考える。 **ア**八世紀の中国の状況と、安禄山の乱とこの詩の関係に注意させる。**イ**白居易と元稹は科挙による新興官僚として官位を上昇させつつ、権臣や宦官との軋轢もあり、それが元稹の左遷を招いたことに注意させる。**ウ**杜甫と白居易の官僚としてのありかたの違いをまず把握させ、八世紀から九世紀にかけての時代の変化にも気づかせる。 テストを実施する。 語句・句形問題を実施する。	

［日本漢詩］ **【富士山】** 1　日本漢詩文の歴史を理解させる。 2　この詩の、比喩表現による情景描写の特徴を考察させる。	**展開**	**【富士山】** ①　日本漢詩文の歴史を理解する。 ②　日本漢詩文を通史的に確認する。**知技** 中国との関係も補足説明する。 ③　詩の黙読。その後、範読を聞く。 ④　一斉読み。その後、指名によって音読する。 ⑤　詩の書き下し文を完成させる。**知技** ⑥　正確に現代語訳する。 富士山の情景を、比喩を使ってどのように表現しているか考察する。**〔「学習のポイント」1、「言語活動」1〕** 江戸時代の漢詩人が抱いた富士山のイメージと、現代において我々が抱くイメージとの相違点と共通点が的確に把握できるように、指導者が補足説明をする。 ⑦　詩形・押韻について確認する。

1		
【烏児塞宮】 この詩の、漢詩で、西洋の建築物を表現することによって生じている特徴を考察させる。		
展開		**まとめ**
① 【烏児塞宮】 作詩の背景について確認する。 「作者」「出典」等を参照する。 ② 詩の黙読。その後、範読を聞く。 ③ 一斉読み。その後、指名によって音読する。 ④ 詩の書き下し文を完成させる。**知技** ⑤ 正確に現代語訳するとともに、その内容も理解する。 ⑥ 「鳳輦」「淑姫」「錦帳」が漢文では何を連想させるか、考える。**〔「学習のポイント」 1〕** 漢和辞典を使って語彙を調べさせる。 ⑦ 西洋的な要素がこの詩に見られるか、見られるとすればそれによってどのような効果があるか、考える。**〔「言語活動」 1〕** ⑧ 詩の主題となる感情（感慨）はどのようなものか、考える。**〔「言葉と表現」 1〕** 懐古や詠史を主題とする文学作品を思い起こさせる。 ⑨ 詩形・押韻について確認する。		① ［日本漢詩］の詩について、まとめの学習活動を行う。**知技** **思判表** **主態** **〔「言語活動」 1〕** ア漢詩の表現を日本にふさわしいものにする工夫について考える。 イ漢詩の表現を西洋にふさわしいものにする工夫について考える。 ウ同時に、漢詩としての普遍的な表現がどちらの詩にも含まれていることを確認する。 ○ テストを実施する。 ○ 語句・句形問題を実施する。

【雑説】 1　諷喩で書かれている点に注意して内容を理解させる。 2　作者の主張を考察させる。		
導入	**展開**	**まとめ**
①	①	①
中国の散文の特徴について理解する。 「雑説」は、唐代の古文復興運動を代表する優れた散文であることを理解させる。	韓愈について理解する。 「作者」「出典」を参照する。 ②　「雑説」の構成と主張を理解する。 世の中の現状に対する作者の主張・憤懣・感慨が述べられていることを理解させる。 ③　範読を聞いて、音読する。 ④　正確な現代語訳をもとに、要旨をノートにまとめ発表する。 ⑤　予習の段階で書き下し文を書かせ、授業でその疑問点を確認するように指導する。 ⑥　否定形・限定形・受身形・反語形・詠嘆形・疑問形を理解する。**知技** 「天下無馬。」の「馬」はどのような馬のことか考える。 ⑦　文脈から考えさせ、一、二名に指名する。 「伯楽」「千里馬」「奴隷人」「常馬」は、それぞれ何を例えているかを考える。 ⑧　諷喩文であることに注意して全体を読解し直し、それぞれ何に例えているかを考えさせる。 本文の構成を図にまとめる。**思判表**〔「学習のポイント」1	①　作者は「伯楽」や「千里馬」の話に例えて何を言おうとしているのか話し合う。**思判表** **主態**〔「言語活動」1〕 誰を、何を批判しようとしたのかを考えさせる。導入で触れた彼の境遇などをあわせて考えるとよい。
		○　○　テストを実施する。 ○　語句・句形問題を実施する。

		1　対句の妙を味わい、理解させる。 2　本文に現れた李白の人生観を理解させる。 3　『おくのほそ道』の冒頭部分を比較読みさせる。
展開	①	範読に従って繰り返し音読する。 指導者の範読、指名読みを繰り返して、読めない漢字などを確認させる。また、音読によって文章のリズムを味わわせる。
	②	一文ずつ解釈していく。**知技** 予習の段階で書き下し文を書かせ、授業でその疑問点を確認するように指導する。
	③	四字句・六字句を摘出させ、その布置配列を検討し、それがどのような表現効果を見せているかを考える。**思判表**〔**「学習のポイント」1**〕 四六体の修辞について、その斉整美や音調美を、他の例をあげて補説する。
	④	「浮生若夢」と断じた李白は、その悲しみを払拭するため、どのように対処しようとするのかを考える。 快楽として、景色の美・肉親との歓談・美酒等と共に、詩作が挙げられていることに注意させる。
まとめ	①	松尾芭蕉『おくのほそ道』の冒頭部分と比較して、気づいたことを発表する。**知技** **思判表** **主態**〔**「言語活動」1**〕
	○	テストを実施する。
	○	語句・句形問題を実施する。

1 2 3 **【名月――八月の詩】** 漢詩文の表現の特色について学び、漢詩文に親しむ。 月に関する文学作品を調べる。 漢詩（漢文）と和歌（古文）における、月の描かれ方や作品の背景について、共通点と相違点を考える。		
導入	**展開**	**まとめ**
①	① 月を見て遠く離れた人や場所を思う文学作品にはどのようなものがあるか、調べる。 知技 思判表 **〔「学習のポイント」1〕** 百人一首から月の出てくる歌を取り上げさせて、この問いに当てはまるかどうかを考えさせてもよい。漢詩や和歌などの伝統的な文学作品に限定せず、生徒に馴染みのあるラノベやアニメ、ゲーム、映画、ドラマのシーンなどを広く自由に紹介させてもよい。 ② 漢詩（漢文）と和歌（古文）で、月の描かれ方や作品の背景にどのような共通点と相違点があるか、五六ページ「単元の言語活動３」も参考にして、比較する。 知技 思判表 主態 **〔「学習のポイント」2〕** 月に対する見方、作者の社会生活、両国の地理感覚と自然環境の違いなどに目を向けさせる。	○ テストを実施する。
作品全体を通読する。		

【単元の言語活動４　漢詩漢文の表現の特徴をつかむ】

1　漢詩文の表現の特色についてまとめさせる。
2　漢詩文の日本語・日本文学への影響を考察させる。

導入	展開	まとめ
❶	❶	❶
ワークシートと振り返りシートを配布する。 活動の目的を説明する。	漢詩らしい表現の特徴について考える。知技 ①この単元の漢詩から、漢詩らしいと感じられる句もしく聯を一つ選ぶ。 ②選ばれた句（聯）について、なぜ漢詩らしいと感じられるのか、この教科書に掲載されている和歌と比較しながら発表し、話し合う。	漢詩や漢文の表現方法が日本語・日本文学にどのように生かされているか、あるいはどのように異なっているか、この教科書掲載の漢詩の和訳（一四八ページ・一五〇ページ）も参考にして、まとめて発表する。知技　思判表 主態 ①生かされている点と異なっている点について、一つずつ例をあげる。 ②あげられた例を分類して、漢詩や漢文の表現の特徴について、図表にしてまとめ、発表する。
	❷	○
	漢文特有の言い回しや比喩の特徴について考える。知技 ①この単元の漢文から、漢文らしいと思われる言い回しや比喩を一つ選ぶ。 ②選ばれた言い回しや比喩の中に現代日本語の実用文や論説文に取り込まれているものがあるか、話し合う。	振り返りシートに記入する。